

犀川・寺町台コース

男川・犀川「その美しき清流と緑のやすらぎ空間」

犀川。清き水の流れと緑地を駆け抜けるやさしい川風、そして遠くには医王山。水鳥や野鳥が日々遊ぶ姿も心落ち着く光景です。初夏にはアユ解禁となり、多くの太公望が兩岸より竿をさす姿もみられます。

平和町公園 → 平和神社 → 御参詣坂 → 犀川緑地公園 →

法島児童公園 → いしかわ子ども交流センター →

法島不動尊 → 八幡神社



●平和町かいわい

平和町公園には、ちょっとかわった装置があります。その名も『自然エネルギー照明システム』。太陽光と風力を電気エネルギーに変えて、夜間の公園内照明に利用しているのです。環境にやさしい公園です。その公園から団地内の歩道に沿って進むと、平和神社に辿り着きます。秋になると、境内のイチヨウの黄色とお社横にある赤い鳥居とのコントラストが見事です。

●御参詣坂

住宅団地の裏通りを進むと、法島町へ下る坂道があらわれます。藩政時代、野田山墓地へ参詣する時に利用したことから名がついたといわれる御参詣坂です。坂の途中からは、犀川、小立野台地のまちなみが垣間みえます。

●犀川緑地公園

憩いの水辺空間として親しまれている犀川緑地公園。サクラ、アジサイ、ツツジなど季節ごとにさまざまな花が咲き、池には水鳥たちの集う姿がみられます。川風に誘われて緑地に歩を進めると、犀川の流れが身近にせまり、堰からこぼれ出る水音が爽快感をあたえてくれます。さらに上流に目を向けると、遠くに医王山。山河の調和、まさに金沢らしい景観といえるでしょう。

●鳴く虫たちのコンサート

一年中子どもたちの歓声でにぎやかないしかわ子ども交流センター。周辺では、夏から秋にかけての夜には、コオロギやアオマツムシ、カネタタキなどの鳴く虫たちの涼やかな音色が楽しめます。交流センター後方、竹林の斜面まで足を伸ばせば、クツワムシの大合唱も聞かれます。

●法島不動尊のわき水

十一屋小学校へ上がる石段横に不動尊があります。崖一面からのわき水を集めてほこらの手水鉢に入れていて、眼病に効くといわれています。

●八幡神社のケヤキ

石段を登りきったところが、八幡神社。境内には樹齢400～500年のケヤキが天空を仰ぎ、トチノキなどとともに、寺町台を象徴する緑として親しまれています。